

# 建設経済情報「速報値」( 12月報告 )

平成 19 年 12 月 11 日  
企画部 技術管理課

## < 東北地方の現況と見通し >

**鉱工業生産指数は 6.0%上昇、有効求人倍率 0.04 ポイント低下など、日本銀行の地域経済報告が言う様に、東北全体の景気は、緩やかながら着実な回復を続けている。**

**一方、公共工事請負金額の総額は東日本建設業保証㈱調べでは減少傾向にあると言われている。こうした中、19年11月は前年同月比 15.7%減の 687 億円となった。**

### 1 . 東北地方の景気動向

19年9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、109.7と前年同月比6.0%上昇。

19年10月の景気現状判断(DI)は、40.9と前年同月比10.1ポイント低下、有効求人倍率(季節調整済)は、0.73倍と前年同月比0.04ポイント低下。

### 2 . 建設業の動向

19年9月の建設工事受注金額は、前年同月比25.3%の減。

19年10月の建築物着工床面積は前年同月比24.9%の減、新設住宅着工戸数は前年同月比33.3%の減、建設労働需給不足率は+0.7%と不足傾向。

19年11月の全企業倒産は件数で前年同月比12.0%の増加、負債額は前年同月比71.3%の増加。

なお、建設業の倒産件数は24件(前年同月比60.0%増)、負債額は20億円(前年同月比22.4%増)と全産業で最多。

## 目 次

### < 施工 >

公共工事請負金額	1
建設工事受注金額	3
建築物着工床面積	5
新設住宅着工戸数	7
19 年度事業費等見込み額	9

### < 労働 >

建設労働需給の不足率	10
------------	----

### < 倒産 >

企業倒産	11
------	----

### < 景気 >

企業短期経済観測	13
----------	----

< 参考：主な経済指標 >	14
---------------	----

景気現状判断 (DI)

鉱工業生産指数

大型小売店販売額

消費者物価指数

有効求人倍率

完全失業率

輸出入額

# 施工

## 1. 公共工事請負金額（19年11月実績。東日本建設業保証）

東北の公共工事請負金額計は、前年同月比で15.7%減の687億円となっている。

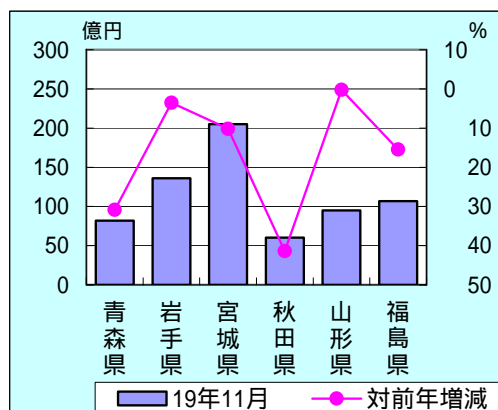
内訳は、地方公社(737.4%増)が増加しているものの、独立行政法人等(54.6%減) 県(14.8%減) 国(10.1%減) 市町村(6.0%減)が減少となっている。

県別の前年同月比では、秋田県(41.4%減) 青森県(30.9%減) 福島県(15.5%減) 宮城県(10.2%減) 岩手県(3.5%減) 山形県(0.2%減)が減少となっている。

### 公共工事請負金額

単位:億円 %

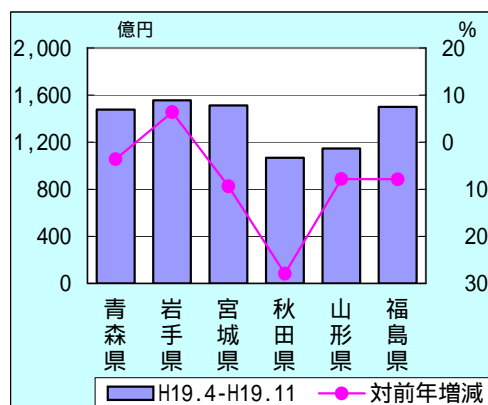
	19年11月	対前年増減
東北計	687	15.7
青森県	82	30.9
岩手県	136	3.5
宮城県	205	10.2
秋田県	60	41.4
山形県	95	0.2
福島県	107	15.5



### 公共工事請負金額年度内累計

単位:億円 %

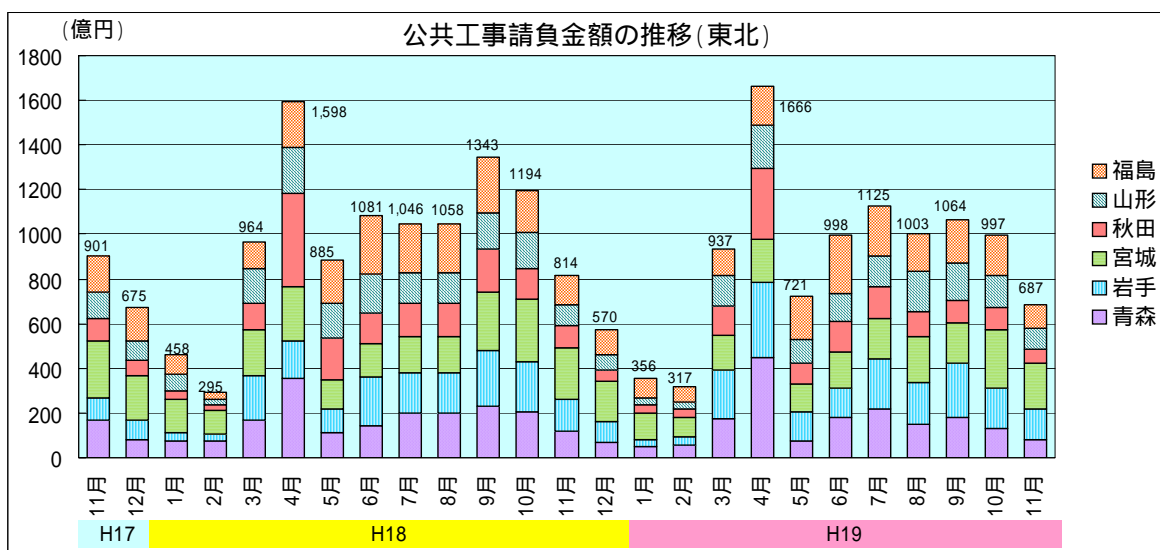
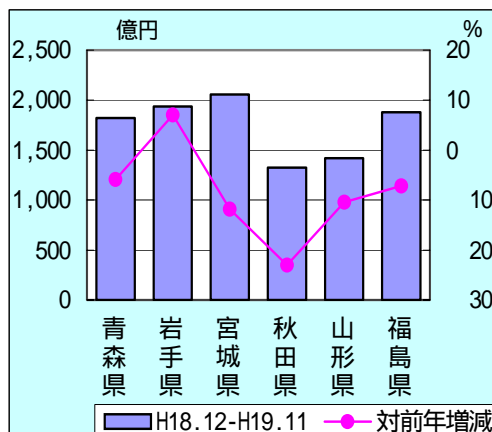
	H18.4-H18.11	H19.4-H19.11	対前年増減
東北計	9,018	8,261	8.4
青森県	1,531	1,477	3.6
岩手県	1,461	1,555	+6.4
宮城県	1,669	1,513	9.4
秋田県	1,481	1,068	27.9
山形県	1,244	1,147	7.8
福島県	1,630	1,501	7.9



### 公共工事請負金額 1年累計

単位: 億円 %

	H17.12-H18.11	H18.12-H19.11	対前年増減
東北計	11,410	10,442	8.5
青森県	1,935	1,821	5.9
岩手県	1,810	1,938	+7.1
宮城県	2,332	2,056	11.8
秋田県	1,721	1,325	23.0
山形県	1,586	1,421	10.4
福島県	2,025	1,880	7.1



## 2. 建設工事受注金額（19年9月実績。国土交通省）

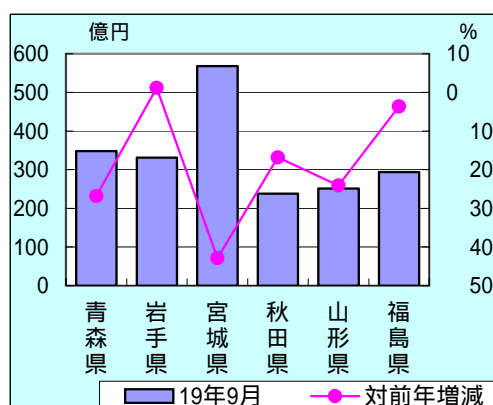
全国の受注高は5兆4,576億円で、前年同月比4.0%増となった。

東北は前年同月比で、岩手県（1.2%増）が増加となっているものの、宮城県（42.9%減）、青森県（26.8%減）、山形県（24.1%減）、秋田県（16.8%減）、福島県（3.6%減）が減少となり、全体で25.3%減の2,030億円となった。

### 建設工事受注金額

単位：億円 %

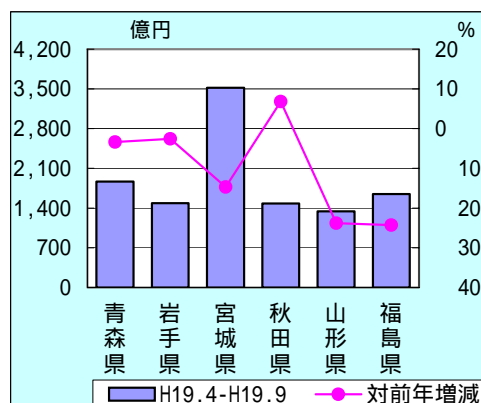
19年9月	受注高計	対前年増減
全 国	54,576	+ 4.0
東北計	2,030	25.3
青森県	348	26.8
岩手県	331	+ 1.2
宮城県	568	42.9
秋田県	238	16.8
山形県	251	24.1
福島県	294	3.6



### 建設工事受注金額年度内累計

単位：億円 %

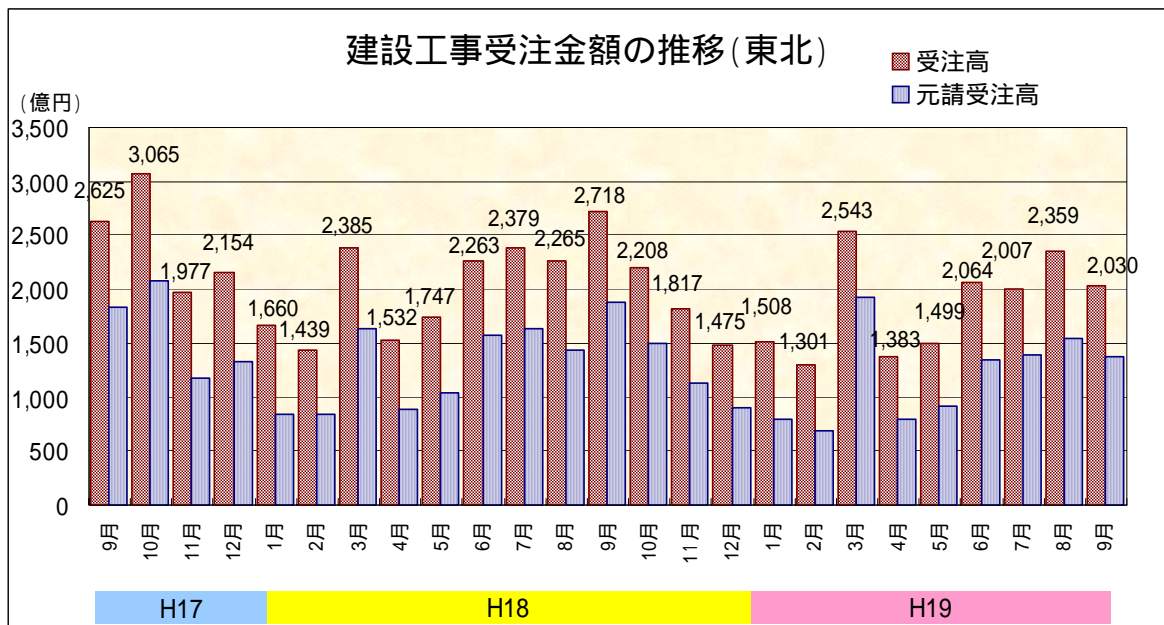
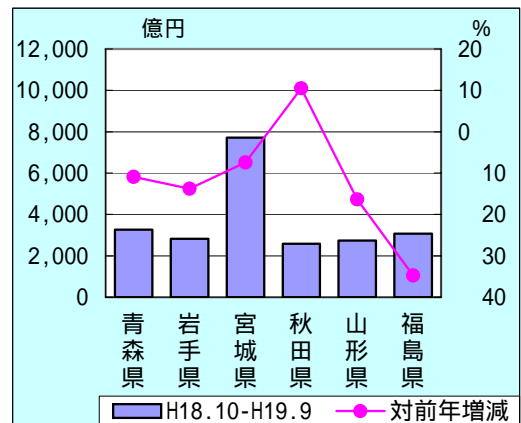
	H18.4-H18.9	H19.4-H19.9	対前年増減
全 国	254,166	267,298	+ 5.2
東北計	12,904	11,342	12.1
青森県	1,935	1,870	3.4
岩手県	1,524	1,485	2.5
宮城県	4,125	3,519	14.7
秋田県	1,386	1,481	+ 6.8
山形県	1,762	1,342	23.8
福島県	2,172	1,645	24.3



### 建設工事受注金額 1年累計

単位:億円 %

	H17.10-H18.9	H18.10-H19.9	対前年増減
全 国	530,557	532,748	+ 0.4
東北計	25,585	22,194	13.3
青森県	3,666	3,266	10.9
岩手県	3,275	2,823	13.8
宮城県	8,336	7,721	7.4
秋田県	2,339	2,584	+ 10.5
山形県	3,266	2,731	16.4
福島県	4,703	3,069	34.8



### 3. 建築物着工床面積（19年10月実績。国土交通省）

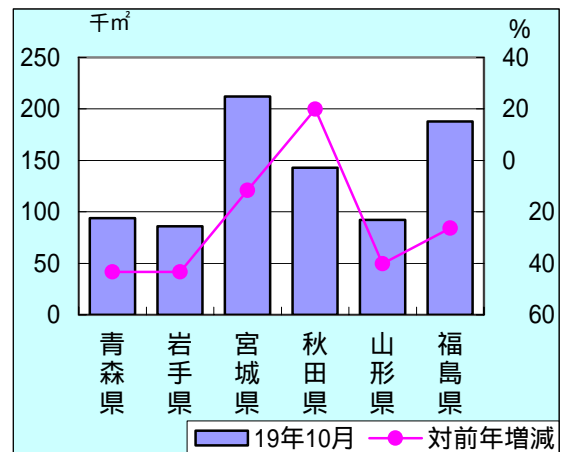
全国の建築物着工床面積は、前年同月比で非居住用（34.8%減）居住用（29.6%減）が減少したため、全体では31.5%減の11,035千㎡となった。

東北は前年同月比で、秋田県（19.9%増）が増加しているものの、青森県（43.3%減）岩手県（43.3%減）山形県（40.2%減）福島県（26.4%減）宮城県（11.7%減）がいずれも減少しており、全体では24.9%減の814千㎡となった。

#### 建築物着工床面積

単位：千㎡ %

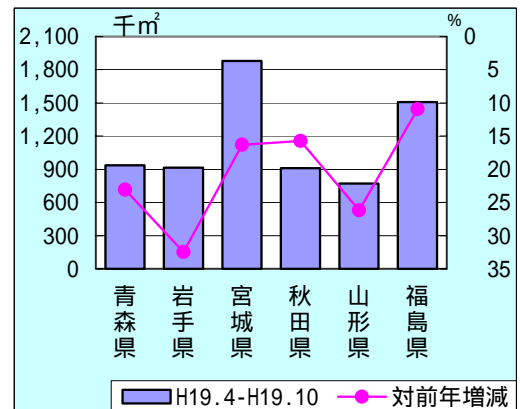
	19年10月	対前年増減
全 国	11,035	31.5
東北計	814	24.9
青森県	94	43.3
岩手県	86	43.3
宮城県	212	11.7
秋田県	143	+ 19.9
山形県	92	40.2
福島県	188	26.4



#### 建築物着工床面積年度内累計

単位：千㎡ %

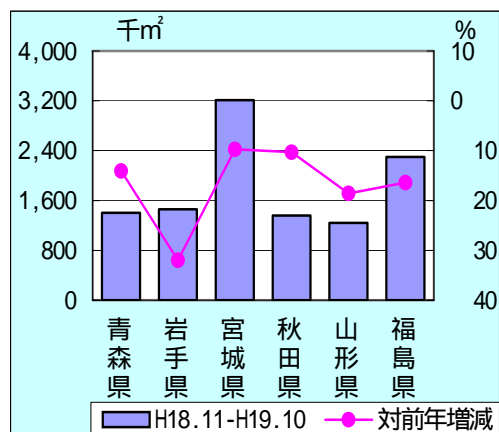
	H18.4-H18.10	H19.4-H19.10	対前年増減
全 国	115,353	94,615	18.0
東北計	8,637	6,921	19.9
青森県	1,218	937	23.1
岩手県	1,353	914	32.4
宮城県	2,247	1,881	16.3
秋田県	1,081	911	15.7
山形県	1,046	772	26.2
福島県	1,692	1,507	10.9



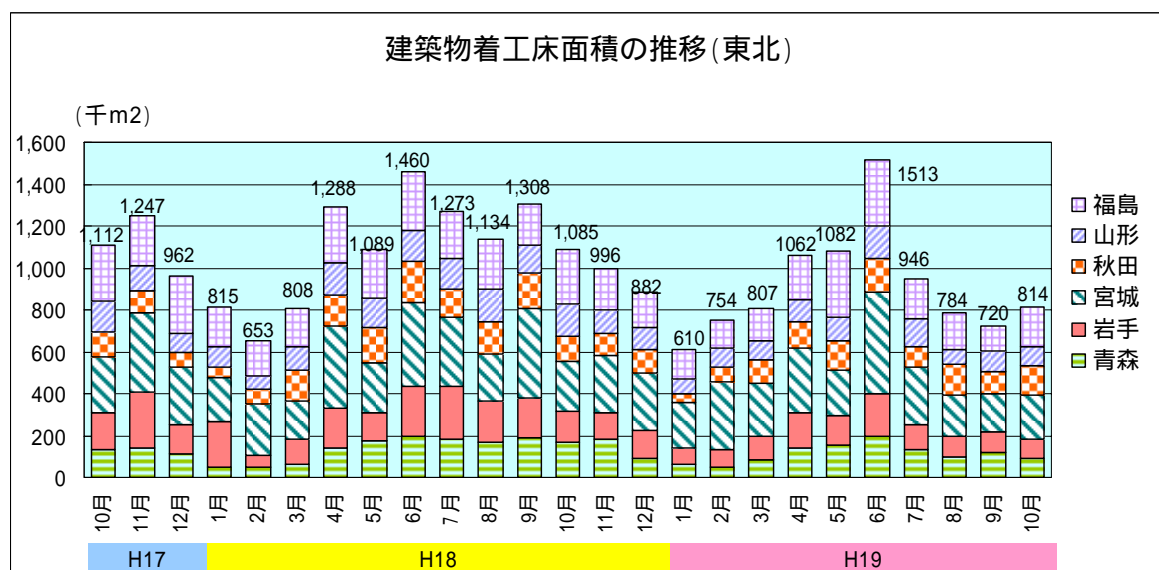
## 建築物着工床面積 1年累計

単位:千㎡ %

	H17.11-H18.10	H18.11-H19.10	対前年増減
全国	186,518	166,423	10.8
東北計	13,122	10,970	16.4
青森県	1,633	1,404	14.0
岩手県	2,146	1,459	32.0
宮城県	3,556	3,211	9.7
秋田県	1,513	1,357	10.3
山形県	1,526	1,243	18.5
福島県	2,748	2,298	16.4



## 建築物着工床面積の推移 (東北)





#### 4. 新設住宅着工戸数（19年10月実績。国土交通省）

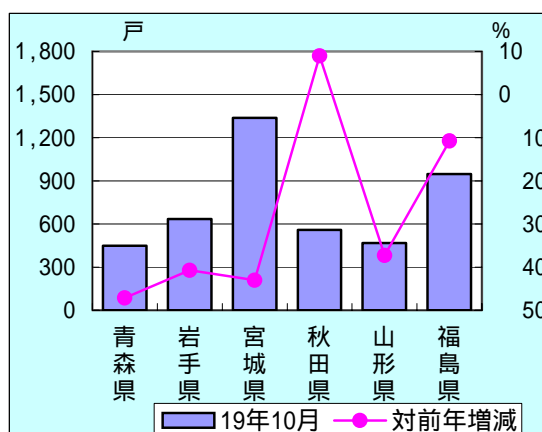
全国の新設住宅着工戸数は、前年同月比で給与住宅（56.3%減）分譲住宅（50.2%減）貸家（40.2%減）持家（8.0%減）がいずれも減少したため、全体では35.0%減の76,920戸となった。

東北は前年同月比で、秋田県（9.0%増）となっているものの、青森県（47.1%減）、宮城県（43.0%減）岩手県（40.7%減）山形県（37.3%減）福島県（10.7%減）がいずれも減少となり、全体では33.3%減の4,396戸となった。

##### 新設住宅着工戸数

単位：戸 %

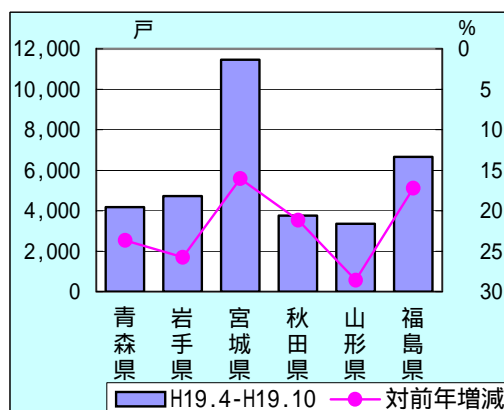
	19年10月	対前年増減
全 国	76,920	35.0
東北計	4,396	33.3
青森県	448	47.1
岩手県	635	40.7
宮城県	1,339	43.0
秋田県	559	+9.0
山形県	468	37.3
福島県	947	10.7



##### 新設住宅着工戸数年度内累計

単位：戸 %

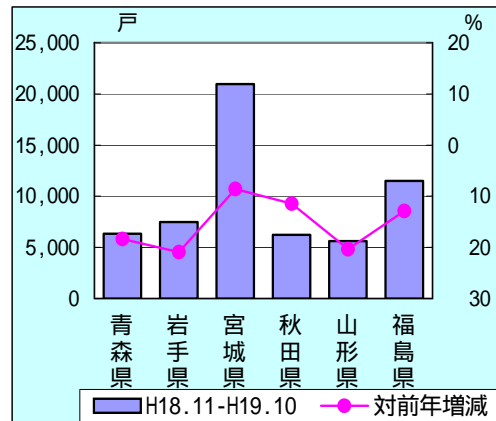
	H18.4-H18.10	H19.4-H19.10	対前年増減
全 国	782,881	610,208	22.1
東北計	42,988	34,132	20.6
青森県	5,474	4,178	23.7
岩手県	6,367	4,728	25.7
宮城県	13,658	11,469	16.0
秋田県	4,759	3,751	21.2
山形県	4,687	3,348	28.6
福島県	8,043	6,658	17.2



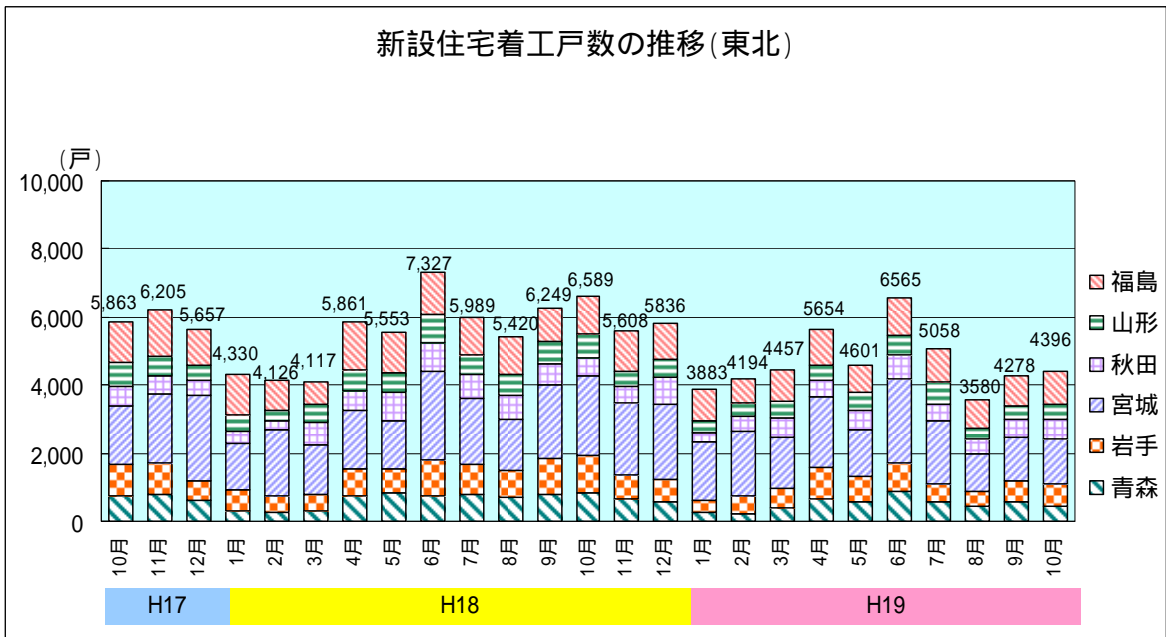
### 新設住宅着工戸数 1年累計

単位:戸 %

	H17.11-H18.10	H18.11-H19.10	対前年増減
全 国	1,275,452	1,112,573	12.8
東北計	67,423	58,110	13.8
青森県	7,766	6,341	18.3
岩手県	9,453	7,476	20.9
宮城県	22,926	20,953	8.6
秋田県	7,035	6,229	11.5
山形県	7,037	5,605	20.3
福島県	13,206	11,506	12.9



### 新設住宅着工戸数の推移(東北)



## 5 . 19 年度事業費等見込み額

(19 年 9 月末見込額。公共事業施行対策東北地方連絡協議会)

19 年度における東北全体の事業費は 1 兆 7,637 億円、前年度同期比は 9.8% 減となっている。本工事費は 1 兆 5,767 億円、前年度同期比は 6.9% 減となっている。

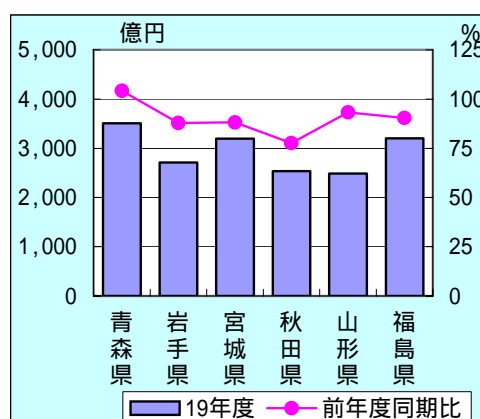
なお、上半期まで(4月～9月)の本工事費の発注実績額は、1 兆 706 億円となり、発注率は約 67.9% となっている。

### 19 年度事業費等見込み額

#### 1) 事業費

単位:億円 %

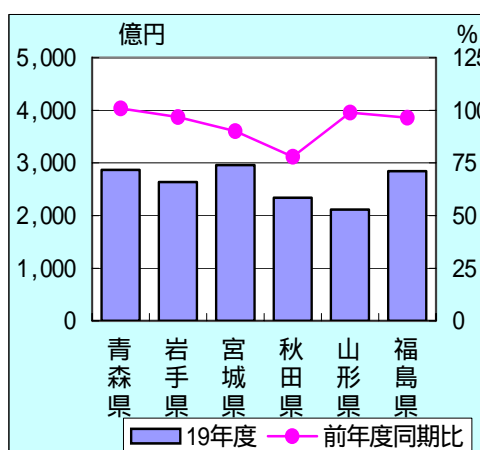
	19年度	18年度	前年度同期比
東北計	17,637	19,549	90.2
青森県	3,507	3,366	104.2
岩手県	2,708	3,082	87.9
宮城県	3,195	3,625	88.1
秋田県	2,536	3,265	77.7
山形県	2,490	2,672	93.2
福島県	3,200	3,539	90.4



#### 2) 本工事費

単位:億円 %

	19年度	18年度	前年度同期比
東北計	15,767	16,927	93.1
青森県	2,870	2,844	100.9
岩手県	2,638	2,721	96.9
宮城県	2,962	3,285	90.2
秋田県	2,340	3,000	78.0
山形県	2,112	2,135	98.9
福島県	2,843	2,943	96.6



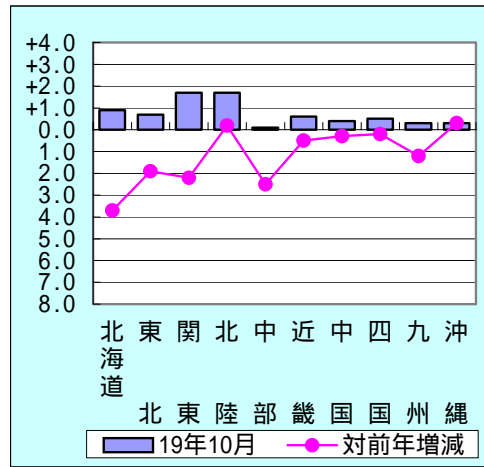
# 労働

## 1. 建設労働需給の不足率（19年10月調査。国土交通省）

全国8職種計の不足率（原数値）は、0.8%と不足傾向となっている。  
 東北管内における不足率（原数値）は、+0.7%と不足傾向となっている。

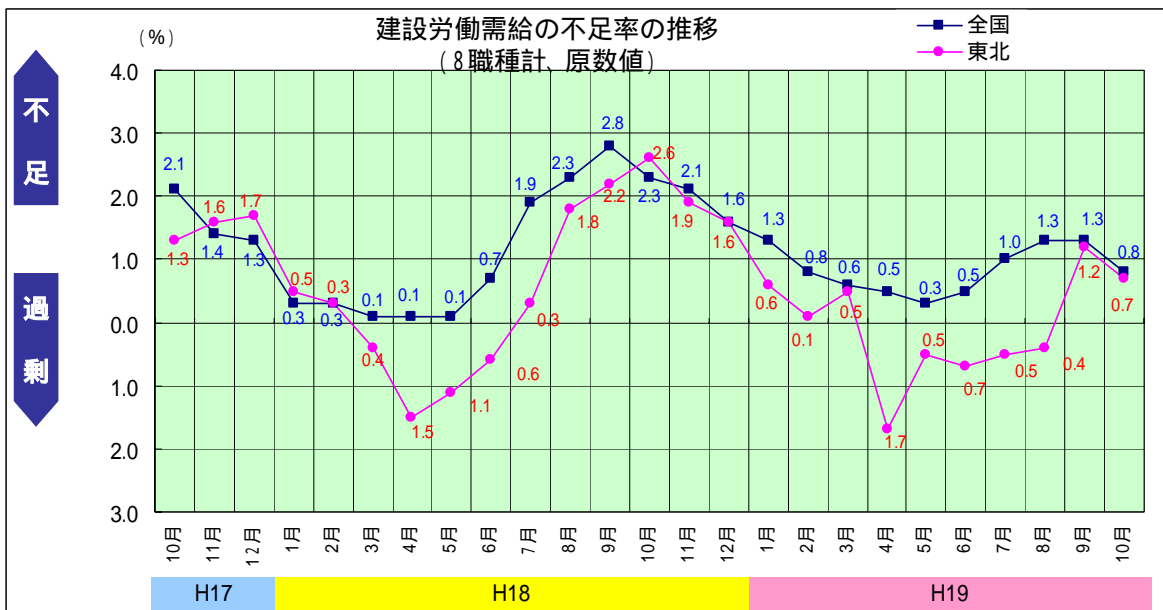
建設労働需給の不足率(8職種計。%)

	19年10月	対前年増減
全国	+0.8	1.5
北海道	+0.9	3.7
東北	+0.7	1.9
関東	+1.7	2.2
北陸	+1.7	+0.2
中部	+0.1	2.5
近畿	+0.6	0.5
中国	+0.4	0.3
四国	+0.5	0.2
九州	+0.3	1.2
沖縄	+0.3	+0.3



<備考>

- 1)年月欄のプラスは不足,マイナス(印)は過剰。原数値
- 2)対前年増減欄のプラス(+ )は不足の方向へ、マイナス(印)は過剰の方向に変化。
- 3)8職種とは型枠工(土木、建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木、建築)、電工、配管工。



# 倒産

## 1. 企業倒産（19年11月実績。負債総額1,000万以上。東京商工リサーチ）

東北の企業倒産状況は件数において前年同月比112.0%の56件と増加している。県別では、青森県（66.7%）が減少しているものの、岩手県（400.0%）、宮城県（123.1%）、山形県（122.2%）、福島県（108.3%）、秋田県（100.0%）が増加している。

負債額では、青森県（57.6%）が減少となっているものの、岩手県（2400.0%）、秋田県（964.4%）、宮城県（234.1%）、福島県（49.9%）、山形県（25.8%）が増加となっており、全体でも171.3%と増加している。

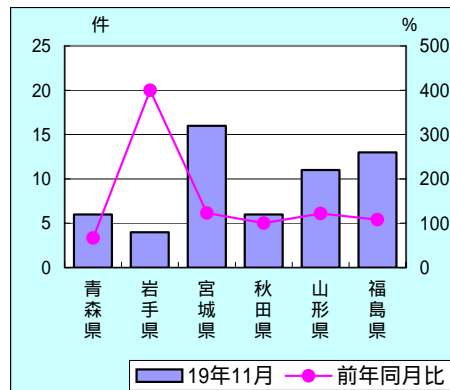
なお、建設業の倒産件数は前年同月比160.0%となっており、全産業で最多の24件となっている。

### 企業倒産状況

#### 1) 件数

単位:件 %

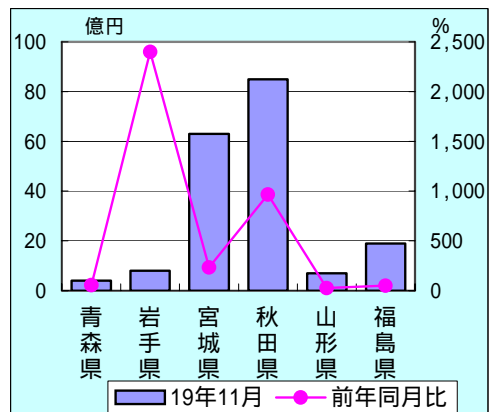
	19年11月	前年同月比
東北計	56	112.0
青森県	6	66.7
岩手県	4	400.0
宮城県	16	123.1
秋田県	6	100.0
山形県	11	122.2
福島県	13	108.3
東北計のうち 建設業	24	160.0

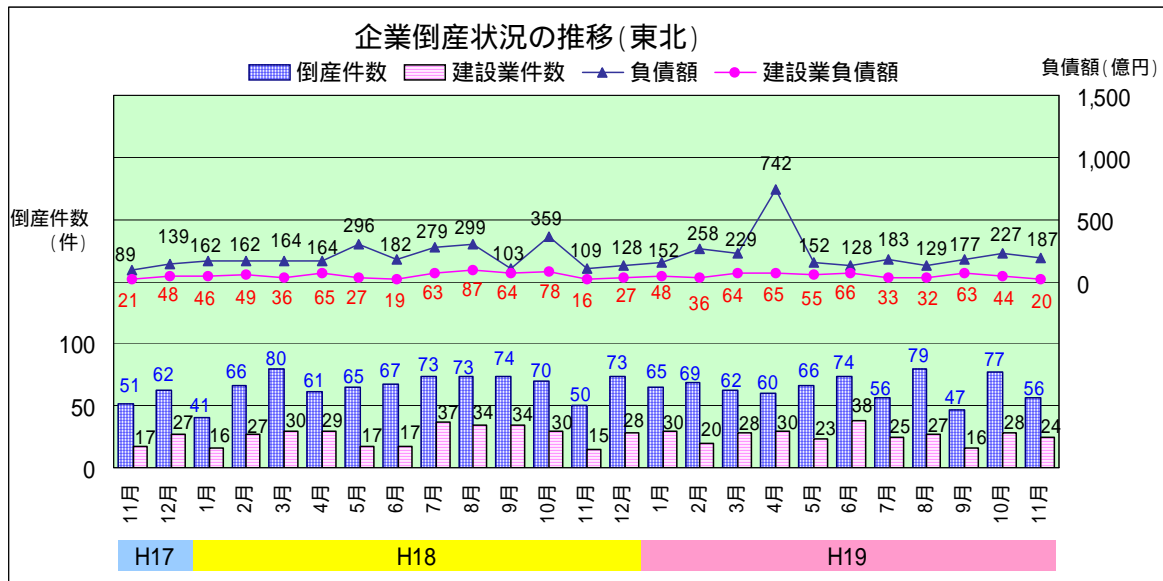


#### 2) 負債額

単位:億円 %

	19年11月	前年同月比
東北計	187	171.3
青森県	4	57.6
岩手県	8	2,400.0
宮城県	63	234.1
秋田県	85	964.4
山形県	7	25.8
福島県	19	49.9
東北計のうち 建設業	20	122.4





企業倒産件数年度内累計

	単位:件 %		
	H18.4-H18.11	H19.4-H19.11	対前年増減
東北計	533	515	3.4
東北計のうち 建設業	213	211	0.9

企業倒産件数1年累計

	単位:件 %		
	H17.12-H18.11	H18.12-H19.11	対前年増減
東北計	782	784	+0.3
東北計のうち 建設業	313	317	+1.3

企業倒産負債額年度内累計

	単位:億円 %		
	H18.4-H18.11	H19.4-H19.11	対前年増減
東北計	1,791	1,925	+7.5
東北計のうち 建設業	419	378	9.8

企業倒産負債額1年累計

	単位:億円 %		
	H17.12-H18.11	H18.12-H19.11	対前年増減
東北計	2,418	2,692	+11.3
東北計のうち 建設業	598	553	7.5

## 景 気

### 1. 企業短期経済観測

〔東北地区6県。四半期毎(3、6、9、12月)日本銀行仙台支店〕

2007年9月調査が最新のデータとなっております。

#### 1) 業況判断

製造業については、+7と前回調査(+8)に比べ1ポイント悪化している。

- ・ これを業種別にみると、木材・木製品(+8 42)、窯業・土石(+35 47)、非鉄金属(+44 +33)などが悪化している。
- ・ 精密機械(+10 +30)などが改善している。

非製造業については、+19と前回調査(+21)に比べ+2ポイント改善している。

- ・ これを業種別にみると、リース(0 +20)、情報通信(+25 16)、電気・ガス(+18 12)などが改善している。
- ・ 一方、飲食店・宿泊(+3 10)などが悪化している。

先行きは、製造業(+7 +5)、非製造業(+19 20)ともに幾分悪化が見込まれている。

#### 2) 売上高・経常利益

##### (1) 2007年度計画

製造業は、売上高は増収(前年度比+2.2%)計画となっているものの、経常利益は減益(前年度比 -10.2%)を見込んでいる。

非製造業は、売上高は減収(前年度比 -0.3%)、経常利益は減益(前年度比 -4.7%)を見込んでいる。

#### 3) 設備投資額

##### (1) 2007年度計画

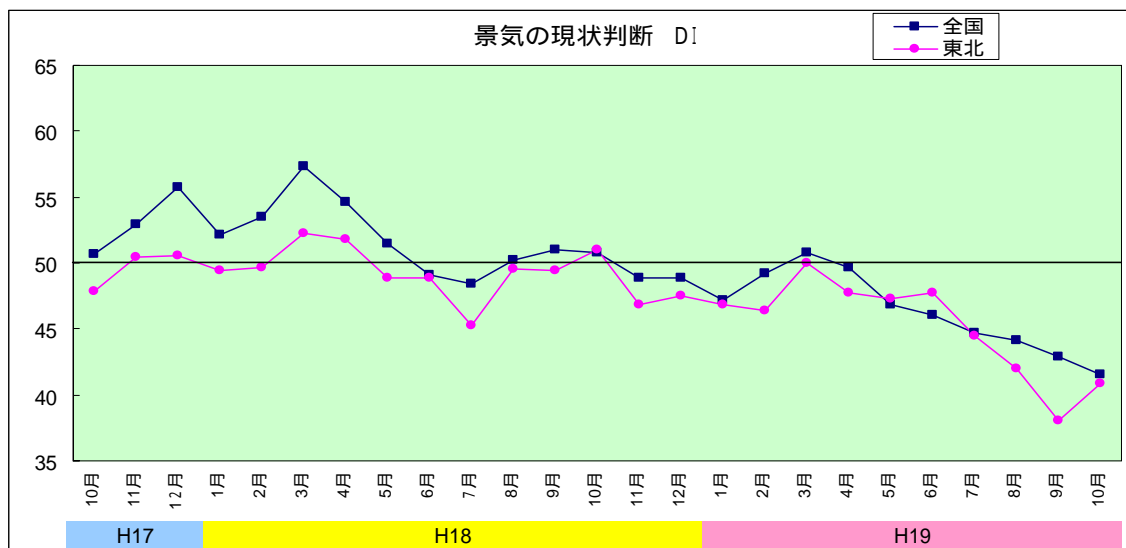
製造業は、前年度比+60.6%の計画となっている。

非製造業は、前年度比 +17.3%の計画となっている。

## 主な経済指標

### 1. 景気現状判断 DI (19年10月 内閣府 景気ウォッチャー調査)

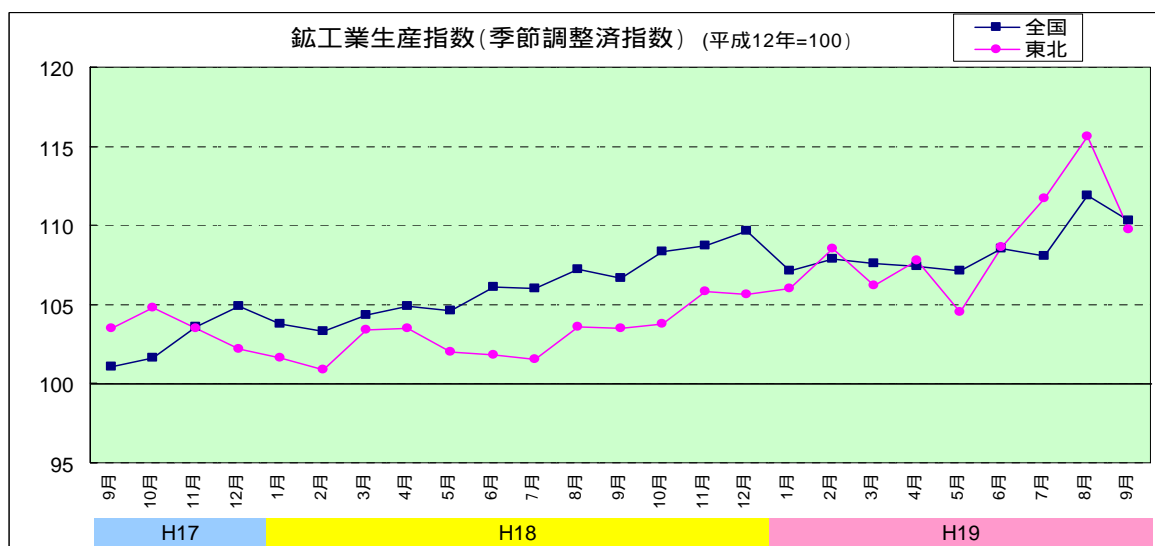
10月の現状判断DIは、40.9で前年同月と比較すると10.1ポイント低下、前月との比較では2.9ポイント上昇している。



DIが50を上回れば景気は「良い」、下回れば「悪い」と判断できる

### 2. 鉱工業生産指数 (19年9月 東北経済産業局 東北地域鉱工業生産動向)

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、109.7(前年同月比6.0%上昇)と4ヶ月ぶりの低下となった。一般機械工業、輸送機械工業が、前月の反動等により低下した。



平成12年=100

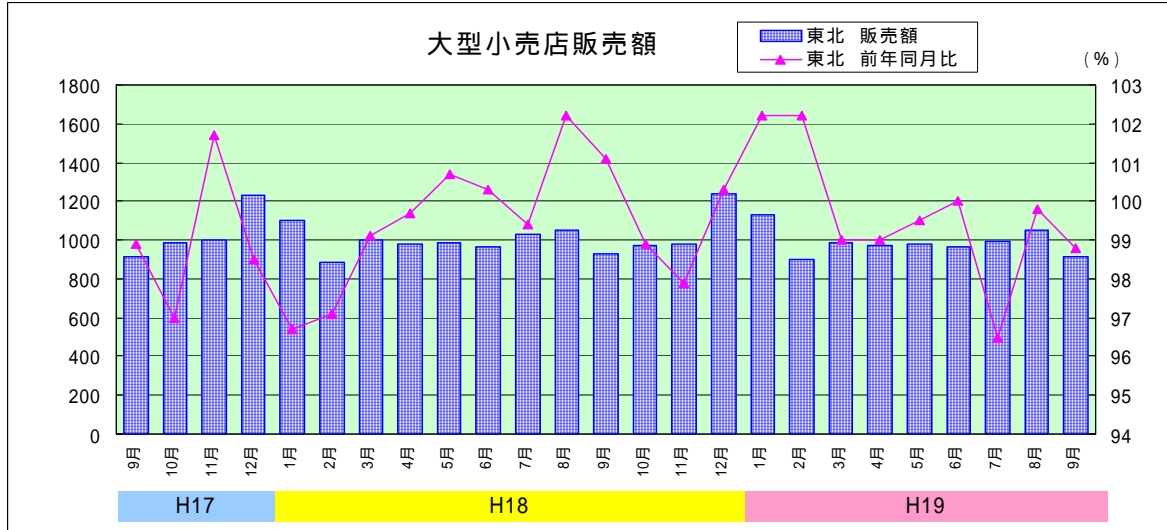
最新月の値は速報値

値は季節調整済み



### 3. 大型小売店販売額（19年9月 東北経済産業局 大型小売店販売額動向）

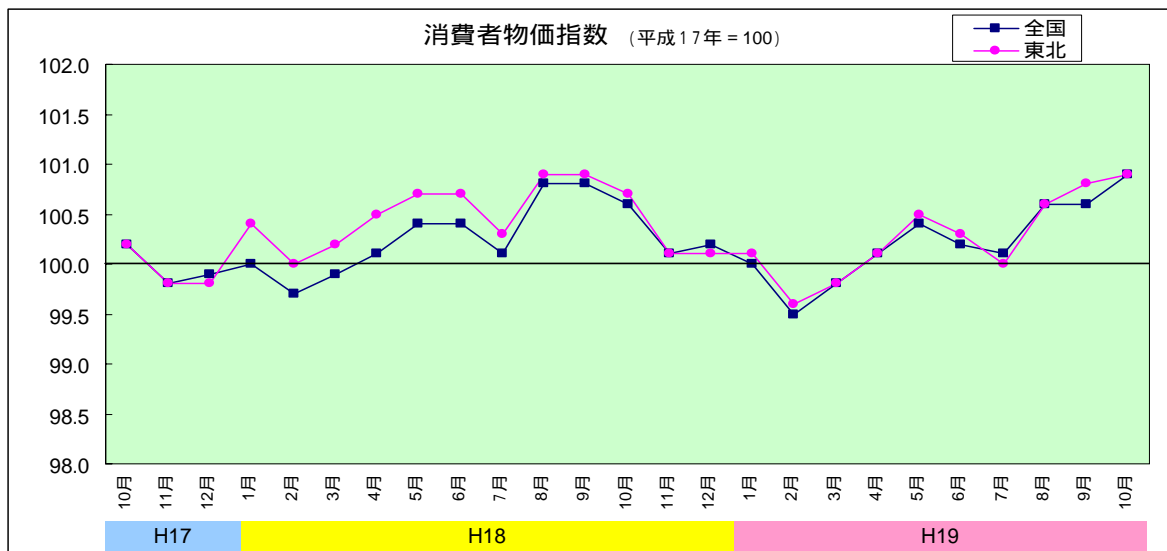
9月の大型小売店販売額は、全店舗ベースで前年同月比1.2%減となった。業態別では、百貨店は同9.4%減、スーパーが同1.3%増となった。



値は全店舗ベース

### 4. 消費者物価指数（19年10月 総務省 消費者物価指数）

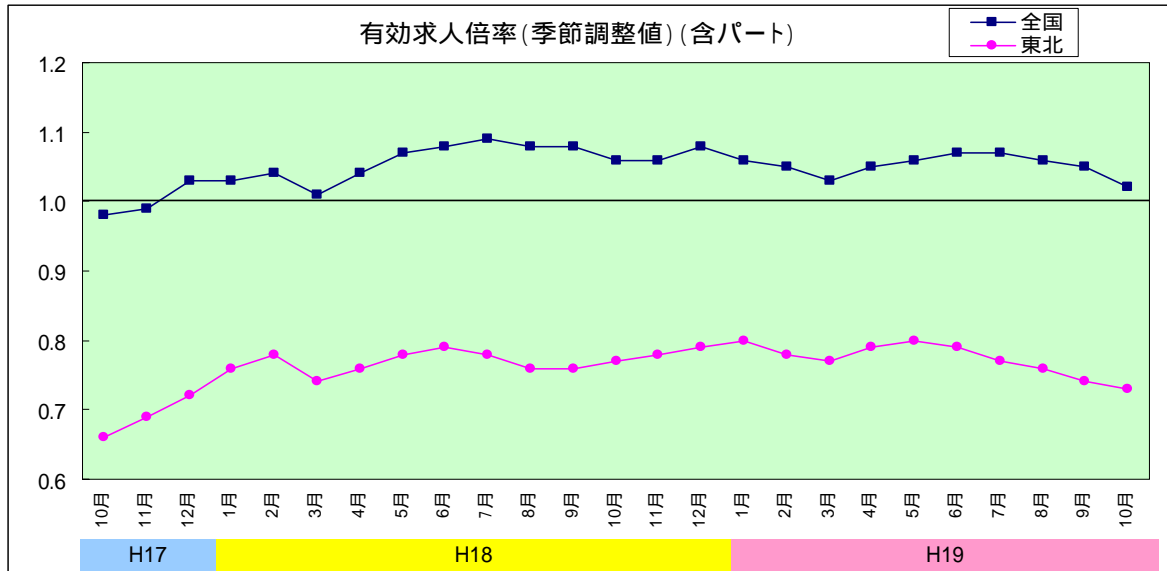
消費者物価指数は、平成17年を100として100.9となり、前月比は0.1%の上昇。前年同月比は0.2%の上昇となった。



平成17年 = 100

## 5. 有効求人倍率(19年10月 厚生労働省 一般職業紹介状況)

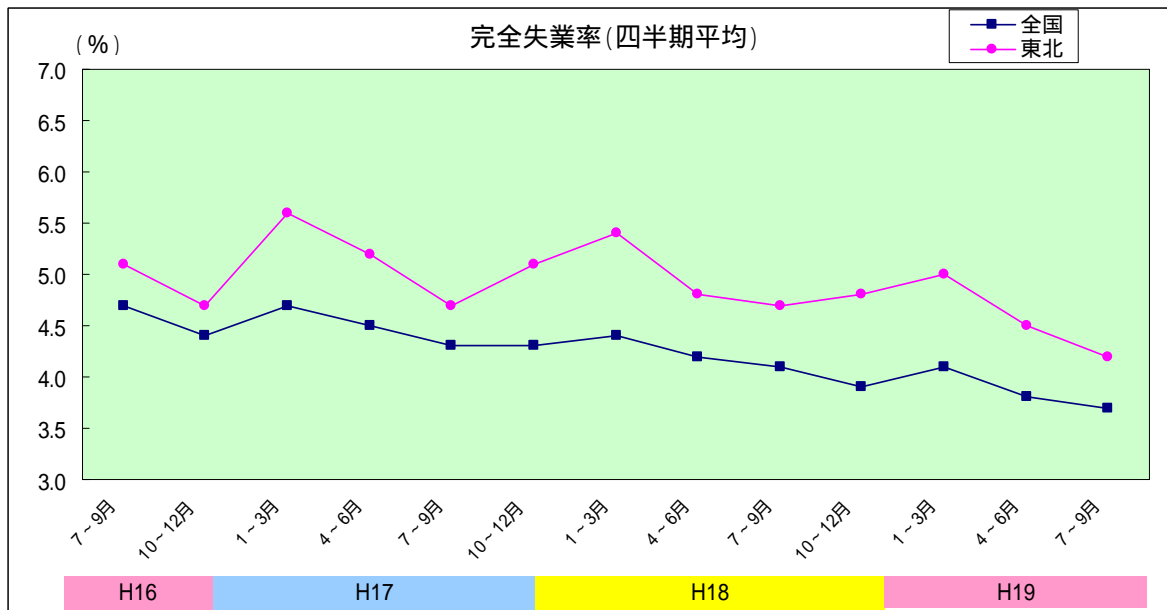
有効求人倍率は、0.73倍(季節調整値)と前月比0.01ポイントの低下、前年同月比は0.04ポイントの低下となった。



値は季節調整済み

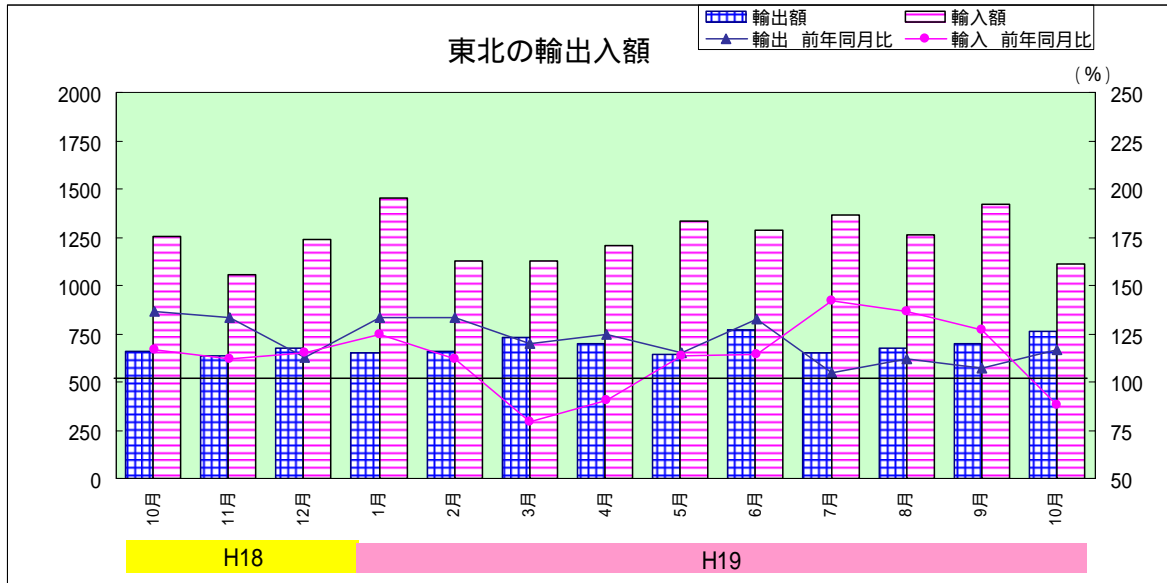
## 6. 完全失業率(19年7~9月期 総務省 労働力調査)

7~9月期の完全失業率(原数値)は4.2%で前年同期に比べ0.5ポイントの低下となり改善している。



## 7. 輸出入額（19年10月 横浜、東京、函館税関 貿易統計）

輸出は前年同月比116.3%の763億円、輸入では、前年同月比88.4%の1,111.4億円となり、輸出で前年同月を上回っている。



値は全て速報値